

# Common Core State Standards for English Language Arts における

## Reading Standards for Informational Text (K-12)

—スパイラル構造をもった説明的文章読解カリキュラムの実際—

キーワード：スパイラルカリキュラム 説明的文章

比治山大学 青山 之典

### 1 Common Core State Standards for English Language Arts の概要と検討の意義

Common Core State Standards for English Language Arts は CCSSO (全米州教育長協議会) と NGA (全米知事会) によって 2010 年 6 月に主導・作成され、ほぼ全米において採択されたスパイラルカリキュラムである。大学進学時、あるいは就職時に必要とされる能力を養うために、幼稚園から高校卒業までをカバーする。また、特に焦点をあてる Reading Standards for Informational Text (RSIT) は読解カリキュラムのうち、説明的文章を担当する。これまでアメリカ合衆国においては文学と説明的文章とを区別せず、Reading として位置づけてきた経緯があり、今回、説明的文章読解のカリキュラムを示したことは特徴的である。

本論文は RSIT の全て (K-12) を翻訳し、若干の考察を試みたものである。我が国では学習指導要領をスパイラル化するという意図をもちながらも、未だその途上にあるといえる。RSIT の翻訳を示すことは、実際に運用されているスパイラルカリキュラムの一事例を示すことであり、意義深いと考える。

### 2 RSIT (K-12) 翻訳資料

#### (1) RSIT の全体構造

RSIT は 4 つの領域で構成されている。それは次の通りである。

- |  |
|--|
| ① Key Ideas and Details<br>鍵となる考えと細部の描写の関係                         |
| ② Craft and Structure<br>技法と構成 (レトリックの分析と評価)                       |
| ③ Integration of Knowledge and Ideas<br>知識と考えの統合                   |
| ④ Range of Reading and Level of Text Complexity<br>文章の複雑さのレベルと読みの幅 |

そして、それぞれの領域は下位要素である指導事項

によって構成されている。

特徴的なのは、これらの指導事項は Strand とよばれる構造の一つ一つの要素であり、幼稚園から 12 学年まで系統的に配置されていることである。

Strand は相互に関係し合い、その結果、RSIT は学年が上がるにつれて範囲が広がり、難度が高まっていくスパイラル構造になっている。このような構造の特徴により、系統性を保障し、同類の能力について繰り返し学習することを実現していると考えられる。

以下、それぞれの学年における指導事項を翻訳していく。

#### (2) Kindergarten 幼稚園

##### ① Key Ideas and Details

鍵となる考えと細部の描写の関係

1) With prompting and support, ask and answer questions about key details in a text.

励ましと支援を受けながら、テキストの鍵となる細部の描写について、尋ねたり、質問に答えることができる。

2) With prompting and support, identify the main topic and retell key details of a text.

励ましと支援を受けながら、テキストの主題を確認し、鍵となる細部の描写を言い換えることができる。

3) With prompting and support, describe the connection between two individuals, events, ideas, or pieces of information in a text.

励ましと支援を受けながら、テキストに示された二つの事実、二つの考え、二つのできごと、二つの個体の関係を説明することができる。

##### ② Craft and Structure

技法と構成 (レトリックの分析と評価)

4) With prompting and support, ask and answer questions about unknown words in a text.

励ましと支援を受けながら、テキスト中の未知の単語について尋ねたり、質問に答えたりすることができる。

- 5) Identify the front cover, back cover, and title page of a book.

本の表紙、裏表紙、タイトルページを見分けることができる。

- 6) Name the author and illustrator of a text and define the role of each in presenting the ideas or information in a text.

本の筆者と挿絵作者の名前を正しく言うことができ、テキスト中の情報や表明されている考えの役割を明らかにすることができる。

### ③ Integration of Knowledge and Ideas

#### 知識と考えの統合

- 7) With prompting and support, describe the relationship between illustrations and the text in which they appear (e.g., what person, place, thing, or idea in the text an illustration depicts).

励ましと支援を受けながら、著されているどれかの挿絵とテキストの関係について説明することができる。(例えば、テキストの中で挿絵に描かれている人物、場所、ことがら、考え)

- 8) With prompting and support, identify the reasons an author gives to support points in a text.

励ましと支援を受けながら、筆者がテキスト中に支援のポイントを設定している理由を確認することができる。

- 9) With prompting and support, identify basic similarities in and differences between two texts on the same topic (e.g., in illustrations, descriptions, or procedures).

励ましと支援を受けながら、同じ主題の二つのテキストの類似点と相違点のうち基本的なものを確認することができる。(例えば、挿絵、叙述、手順の中に)

### ④ Range of Reading and Level of Text Complexity

#### 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) Actively engage in group reading activities with purpose and understanding.

目的と理解をもって、グループでの読みの活動に積極的に参加することができる。

### (3) Grade 1 1 学年 (Kと同じ部分は一部省略する)

#### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Ask and answer questions about key details in a text.

テキストの鍵となる細部の描写について、尋ねたり、質問に答えたりすることができる。

- 2) Identify the main topic and retell key details of a text.

テキストの主題を確認し、鍵となる細部の描写を言い換えることができる。

- 3) Describe the connection between two individuals, events, ideas, or pieces of information in a text.

テキストに示された二つの事実、二つの考え、二つのできごと、二つの個体の関係を説明することができる。

### ② 技法と構成 (レトリックの分析と評価)

- 4) Ask and answer questions to help determine or clarify the meaning of words and phrases in a text.

テキスト中の単語やフレーズの意味を決定したり明らかにしたりするように、尋ねたり、質問に答えたりすることができる。

- 5) Know and use various text features (e.g., headings, tables of contents, glossaries, electronic menus, icons) to locate key facts or information in a text.

テキスト中の鍵となる事柄や説明を見つけ出すために、様々なテキストの特徴 (例えば、見出し、目次、巻末の用語解説、パソコンのメニュー、アイコン) を知り、使うことができる。

- 6) Distinguish between information provided by pictures or other illustrations and information provided by the words in a text.

写真やイラストによって提供された説明とテキスト中の言葉によって提供された説明を区別することができる。

### ③ 知識と考えの統合

- 7) Use the illustrations and details in a text to describe its key ideas.

鍵となる考えを説明するために、テキスト中の描写やイラストを使うことができる。

- 8) Identify the reasons an author gives to support points in a text.

筆者がテキスト中に支援のポイントを設定している理由を確認することができる。

- 9) Identify basic similarities in and differences between two texts on the same topic (e.g., in illustrations, descriptions, or procedures).

同じ主題の二つのテキストの類似点と相違点のうち基本的なものを確認することができる。(例

えば、挿絵、叙述、手順の中に)

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) With prompting and support, read informational texts appropriately complex for grade 1.

励ましと支援を受けながら、1 学年の児童に合った複雑さをもった説明的なテキストを読むことができる。

#### (4) Grade 2 2 学年

##### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

1) Ask and answer such questions as who, what, where, when, why, and how to demonstrate understanding of key details in a text.

テキスト中の鍵となる細部の描写を理解したことの証のために、誰が、何を、どこで、いつ、なぜ、どのように、といった質問をしたり、答えたりすることができる。

2) Identify the main topic of a multiparagraph text as well as the focus of specific paragraphs within the text.

テキスト中の特定の段落に焦点をあてるのはもちろんのこと、多くの段落でできたテキストの主要主題についても確認することができる。

3) Describe the connection between a series of historical events, scientific ideas or concepts, or steps in technical procedures in a text.

テキストに書かれている、一連の歴史的な事件のつながり、科学的な見解や概念のつながり、技術的進歩の段階のつながり、を説明することができる。

##### ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

4) Determine the meaning of words and phrases in a text relevant to a grade 2 topic or subject area.

2 学年のトピックあるいは分野（科目）に関連性のある、テキスト中の単語やフレーズの意味を確定することができる。

5) Know and use various text features (e.g., captions, bold print, subheadings, glossaries, indexes, electronic menus, icons) to locate key facts or information in a text efficiently.

テキスト中の鍵となる事柄や説明を能率的に見つけ出すために、様々なテキストの特徴（例えば、キャプション、ボールド文字、小見出し、巻末の用語解説、索引、パソコンのメニュー、アイコン）を知り、使うことができる。

6) Identify the main purpose of a text, including what the author wants to answer, explain, or describe.

筆者が読者に答えさせたい、解明させたい、描写させたいと考えていることを含む、テキストの主な目的を説明することができる。

##### ③ 知識と考えの統合

7) Explain how specific images (e.g., a diagram showing how a machine works) contribute to and clarify a text.

（例えば、どのように機械が働くかを示すダイアグラムのように）どのように特定のイメージが読者に与えられたり、テキストを明確にしたりするのかを説明することができる。

8) Describe how reasons support specific points the author makes in a text.

筆者がテキストに書いた特定のポイントが、どのように理由づけられているかを説明することができる。

9) Compare and contrast the most important points presented by two texts on the same topic.

同じ主題の二つのテキストに示された、もっとも重要なポイントを比較したり、対比したりすることができる。

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) By the end of year, read and comprehend informational texts, including history/social studies, science, and technical texts, in the grades 2-3 text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりにまでに、2 学年の学習のまとめとして、2 学年から 3 学年に扱われるような複雑さをもった、社会科学、理科、科学技術のテキストを含んだ、説明的なテキストを読んで理解することができる。

#### (5) Grade 3 3 学年

##### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

1) Ask and answer questions to demonstrate understanding of a text, referring explicitly to the text as the basis for the answers.

答えるための基礎としてテキストに言及しながら、テキストを理解したことの証として尋ねたり、質問に答えたりすることができる。

2) Determine the main idea of a text; recount the key details and explain how they support the main idea.

鍵となる細部の描写を列挙したり、それらが主な考えをどのように支えているのかを説明したりして、テキストの主な考えを確定する。

- 3) Describe the relationship between a series of historical events, scientific ideas or concepts, or steps in technical procedures in a text, using language that pertains to time, sequence, and cause/effect.

時間を表す言葉、順序を表す言葉、因果関係を表す言葉を使って、テキストに書かれている、一連の歴史的な事件の関係、科学的な見解や概念の関係、技術的進歩の段階の関係、を説明することができる。

## ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

- 4) Determine the meaning of general academic and domain-specific words and phrases in a text relevant to a grade 3 topic or subject area.

第3学年でのトピックや分野（科目）に関連するテキスト中の語やフレーズに一般教養的な、あるいは専門的な意味を見出すことができる。

- 5) Use text features and search tools (e.g., key words, sidebars, hyperlinks) to locate information relevant to a given topic efficiently.

与えられたトピックに関連性のある情報を能率よく見つけ出すために、テキストの特徴や、検索ツール（例えば、キーワード、補足情報、ハイパーリンク）を使うことができる。

- 6) Distinguish their own point of view from that of the author of a text.

テキストの筆者の視点と読者の視点を区別することができる。

## ③ 知識と考えの統合

- 7) Use information gained from illustrations (e.g., maps, photographs) and the words in a text to demonstrate understanding of the text (e.g., where, when, why, and how key events occur).

イラストから得た情報（例えば、地図、写真から得た情報）やテキストを理解した証となるテキスト中の言葉から得た情報（例えば、鍵となる出来事がどこで、いつ、なぜ、どのように生じたのか）を使うことができる。

- 8) Describe the logical connection between particular sentences and paragraphs in a text (e.g., comparison, cause/effect, first/second/third in a sequence).

テキスト中の特定の文および段落の間の論理的

なつながりを説明することができる。

- 9) Compare and contrast the most important points and key details presented in two texts on the same topic.

同じ主題の二つのテキストに示された、最も重要なポイントおよび鍵となる細部の描写を比較したり、対比したりすることができる。

## ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) By the end of the year, read and comprehend informational texts, including history/social studies, science, and technical texts, at the high end of the grades 2-3 text complexity band independently and proficiently.

学年の終わりまでに、3学年の学習のまとめとして、2学年から3学年に扱われるような複雑さをもった、社会科、理科、科学技術のテキストを含んだ、説明的なテキストを自主的かつ上手に読んで理解することができる。

## (6) Grade 4 4 学年

### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Refer to details and examples in a text when explaining what the text says explicitly and when drawing inferences from the text.

テキストが何を明示的に述べているかを説明するとき、またはテキストから推論されることを述べるときに、テキスト中の細部の描写や例を参照することができる。

- 2) Determine the main idea of a text and explain how it is supported by key details; summarize the text.

テキスト中の主な考えを確定し、それが鍵となる細部の描写によって、どのように支えられているかを説明することができる；テキストを要約することができる。

- 3) Explain events, procedures, ideas, or concepts in a historical, scientific, or technical text, including what happened and why, based on specific information in the text.

歴史に関するテキスト、科学に関するテキスト、技術に関するテキストの中での出来事、手順、考え、概念について、テキストの特定の情報をもとに、何が起こり、なぜ起こったのかに触れながら説明することができる。

### ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

- 4) Determine the meaning of general academic and domain-specific words or phrases in a text relevant to

a grade 4 topic or subject area.

第4学年でのトピックや分野(科目)に関連するテキスト中の語やフレーズに一般教養的な、あるいは専門的な意味を見出すことができる。

- 5) Describe the overall structure (e.g., chronology, comparison, cause/effect, problem/solution) of events, ideas, concepts, or information in a text or part of a text.

テキストやテキストのある部分において、出来事、考え、概念、情報について、全体の構成(例えば、配列、比較、原因と結果、問題と解決)を説明することができる。

- 6) Compare and contrast a firsthand and secondhand account of the same event or topic; describe the differences in focus and the information provided.

同じ出来事やトピックについての直接的な説明や間接的な説明を、違いに焦点を当てて述べたり、ほかの情報を用意したりしながら、比較したり、対比したりすることができる。

### ③ 知識と考えの統合

- 7) Interpret information presented visually, orally, or quantitatively (e.g., in charts, graphs, diagrams, time lines, animations, or interactive elements on Web pages) and explain how the information contributes to an understanding of the text in which it appears.

視覚的に、音声的に、数量的に提示された情報(例えば、図表、グラフ、ダイアグラム、年表、アニメーション、ネット上の双方向的な要素)を解釈し、それらの情報に理解を促すどのような効果があるのかを説明することができる。

- 8) Explain how an author uses reasons and evidence to support particular points in a text.

テキスト中の一つのポイントになる部分を裏付けるために、筆者が理由や根拠をどのように使っているかを説明することができる。

- 9) Integrate information from two texts on the same topic in order to write or speak about the subject knowledgeably.

あるテーマについて十分な知識の裏付けをもって書いたり、話したりするために、同じトピックに関する二つの文章から得た情報を統合することができる。

### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) By the end of year, read and comprehend

informational texts, including history/social studies, science, and technical texts, in the grades 4-5 text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりまでに、4学年の学習のまとめとして、4学年から5学年に扱われるような複雑さをもった、社会科学、理科、科学技術のテキストを含んだ、説明的なテキストを上手に読んで理解することができる。

## (7) Grade 5 5 学年

### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Quote accurately from a text when explaining what the text says explicitly and when drawing inferences from the text.

テキストが何を明示的に述べているかを説明するとき、またはテキストから推論されることを述べるときに、テキストから正確に引用することができる。

- 2) Determine two or more main ideas of a text and explain how they are supported by key details; summarize the text.

テキストの二つ以上の主な考えを確定し、それらが鍵となる細部の描写によってどのように支えられているのかを説明することができる。文章を要約することができる。

- 3) Explain the relationships or interactions between two or more individuals, events, ideas, or concepts in a historical, scientific, or technical text based on specific information in the text.

歴史的な、あるいは科学的な、あるいは技術的なテキストの中で特定の情報が基盤となった二つ以上の個体、ことがら、考え、概念の間にある関係や相互作用について説明することができる。

### ② 技法と構成(レトリックの分析と評価)

- 4) Determine the meaning of general academic and domain-specific words and phrases in a text relevant to a grade 5 topic or subject area.

第5学年でのトピックや分野(科目)に関連するテキスト中の語やフレーズに一般教養的な、あるいは専門的な意味を見出すことができる。

- 5) Compare and contrast the overall structure (e.g., chronology, comparison, cause/effect, problem/Solution) of events, ideas, concepts, or information in two or

more texts.

二つ以上のテキストに関して、事柄、考え、概念、情報の全体構成（例えば、配列、比較、原因と結果、問題と解決といった）を比較したり対比したりすることができる。

- 6) Analyze multiple accounts of the same event or topic, noting important similarities and differences in the point of view they represent.

同じ出来事やトピックについての多種多様な説明を、それらが示す視点から見て重要な類似点や相違点を書き留めて、分析することができる。

### ③ 知識と考えの統合

- 7) Draw on information from multiple print or digital sources, demonstrating the ability to locate an answer to a question quickly or to solve a problem efficiently.

質問の答えを素早く見出す能力の証として、また問題を能率的に解決する能力の証として、複数の印刷物やデジタルソースの情報を利用することができる。

- 8) Explain how an author uses reasons and evidence to support particular points in a text, identifying which reasons and evidence support which point(s).

どの理由や根拠がどの部分を支えているかを見極めながら、テキストの特定の部分を支えるために筆者がどのように理由や根拠を使っているかを説明することができる。

- 9) Integrate information from several texts on the same topic in order to write or speak about the subject knowledgeably.

豊富な知識をもって、ある問題について書いたり話したりするために、同じトピックのいくつかのテキストからの情報を統合することができる。

### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) By the end of the year, read and comprehend informational texts, including history/social studies, science, and technical texts, at the high end of the grades 4-5 text complexity band independently and proficiently.

学年の終わりまでに、5学年の学習のまとめとして、4学年から5学年に扱われるような複雑さをもった、社会科、理科、科学技術のテキストを含んだ、説明的なテキストを自主的かつ上手に読んで理解することができる。

### (8) Grade 6 6 学年

### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Cite textual evidence to support analysis of what the text says explicitly as well as inferences drawn from the text.

テキストから導き出される推論についても、テキストが明示的に述べていることについても、その分析を支えるために、本文そのままの根拠を引用することができる。

- 2) Determine a central idea of a text and how it is conveyed through particular details; provide a summary of the text distinct from personal opinions or judgments.

テキストの中心思想およびそれが特定の細部の描写をとおしてどのように伝えられているかを確定することができる。個人的な意見や判断とは全く異なった、テキストの要約を示すことができる

- 3) Analyze in detail how a key individual, event, or idea is introduced, illustrated, and elaborated in a text (e.g., through examples or anecdotes).

鍵となる一つの描写、出来事、考えがどのように紹介され、例として引き出され、推敲されているかについて、細部の描写を分析することができる。（例えば、事例や逸話をとおして）

### ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

- 4) Determine the meaning of words and phrases as they are used in a text, including figurative, connotative, and technical meanings.

語やフレーズがテキストの中で使われているときの意味（比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで）を確定することができる。

- 5) Analyze how a particular sentence, paragraph, chapter, or section fits into the overall structure of a text and contributes to the development of the ideas.

特定の文、段落、節、章が、テキストの全体構成にふさわしいかどうか、そして思想をうまく伝えることができているかを分析することができる。

- 6) Determine an author's point of view or purpose in a text and explain how it is conveyed in the text.

テキストに見られる筆者の視点や意図を確定し、テキストにおいてどのように伝えられているかを説明することができる。

### ③ 知識と考えの統合

- 7) Integrate information presented in different media or

formats (e.g., visually, quantitatively) as well as in words to develop a coherent understanding of a topic or issue.

言葉によって、トピックや問題点の理解が筋の通ったものになるためにも、単語の情報だけでなく、異なる媒体や形式（例えば、視覚にうったえるもの、量的に示すもの）によって示される情報を統合することができる。

8) Trace and evaluate the argument and specific claims in a text, distinguishing claims that are supported by reasons and evidence from claims that are not.

主張が理由や根拠に支えられたものなのか、そうでないのかを見分けることを通して、テキストにおける議論や主張をたどり、評価することができる。

9) Compare and contrast one author's presentation of events with that of another (e.g., a memoir written by and a biography on the same person).

ある筆者の事象の示し方と他の筆者の事象の示し方を比較し、対比することができる。（例えば、ある人の自伝と同じ人について書かれた伝記）

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) By the end of the year, read and comprehend literary nonfiction in the grades 6-8 text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりまでに、6 学年の学習のまとめとして、6 学年から 8 学年に扱われるような複雑さをもった、文学的なノンフィクションを上手に読んで理解することができる。

### (9) Grade 7 7 学年

#### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

1) Cite several pieces of textual evidence to support analysis of what the text says explicitly as well as inferences drawn from the text.

テキストから導き出される推論についても、テキストが明示的に述べていることについても、その分析を支えるために、本文そのままの根拠を数カ所に渡り引用することができる。

2) Determine two or more central ideas in a text and analyze their development over the course of the text; provide an objective summary of the text.

テキストの二つ以上の中心的な思想を確定し、

それがテキストの流れの中でどう発展しているのかを分析することができる。テキストについての客観的な要約を示すことができる。

3) Analyze the interactions between individuals, events, and ideas in a text (e.g., how ideas influence individuals or events, or how individuals influence ideas or events).

テキストの描写、出来事、考えの間の相互作用について分析することができる。（例えば、どのように考えが描写や出来事に影響を与えているかとか、あるいはどのように描写が考えや出来事に影響を与えているか。）

#### ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

4) Determine the meaning of words and phrases as they are used in a text, including figurative, connotative, and technical meanings; analyze the impact of a specific word choice on meaning and tone.

意味や語調から選ばれた特定の語の影響力を分析しつつ、語やフレーズがテキストの中で使われているときの意味（比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで）を確定することができる。

5) Analyze the structure an author uses to organize a text, including how the major sections contribute to the whole and to the development of the ideas.

主な部分がテキスト全体に対して、あるいは思想をうまく伝えることについて、どのように寄与しているかの考察を含んで、筆者がテキストを構成するために使っている技法を分析することができる。

6) Determine an author's point of view or purpose in a text and analyze how the author distinguishes his or her position from that of others.

テキストに見られる筆者の視点や意図を確定し、筆者が自らの立ち位置をどのように示し、他の筆者の立ち位置との違いを際立たせているかを分析することができる。

#### ③ 知識と考えの統合

7) Compare and contrast a text to an audio, video, or multimedia version of the text, analyzing each medium's portrayal of the subject (e.g., how the delivery of a speech affects the impact of the words).

あるテキストと、そのオーディオ、ビデオ、マルチメディア版とを比較、対照し、それぞれの媒体がテーマをどのように記述しているかを分析す

ることができる。(例えば、それぞれのメディアを媒介としたスピーチでの話しぶりが語句の影響力にどのように作用するか)

- 8) Trace and evaluate the argument and specific claims in a text, assessing whether the reasoning is sound and the evidence is relevant and sufficient to support the claims.

理由づけは手堅いか、根拠が主張を支えるために直接に関連し十分な内容であるかといった検討をしつつ、テキストにおける議論や主張をたどり、評価することができる。

- 9) Analyze how two or more authors writing about the same topic shape their presentations of key information by emphasizing different evidence or advancing different interpretations of facts.

二人以上の筆者が同じ話題について、鍵となる情報を提示するために、異なる根拠を際立たせたり、事実についての異なる解釈を示したりすることによって、どのように叙述しているかを分析することができる。

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) By the end of the year, read and comprehend literary nonfiction in the grades 6-8 text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりにまでに、7学年の学習のまとめとして、6学年から8学年に扱われるような複雑さをもった、文学的なノンフィクションを上手に読んで理解することができる。

#### (10) Grade 8 8学年

##### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Cite the textual evidence that most strongly supports an analysis of what the text says explicitly as well as inferences drawn from the text.

テキストから導き出される推論についても、テキストが明示的に述べていることについても、最も強力にその分析を支える、本文そのままの根拠を引用することができる。

- 2) Determine a central idea of a text and analyze its development over the course of the text, including its relationship to supporting ideas; provide an objective summary of the text.

テキストの中心思想を確定し、それがテキスト

の流れの中でどう発展しているかを、それを支える様々な考えを関連づけて分析することができる。 ; テキストについての客観的な要旨を準備することができる。

- 3) Analyze how a text makes connections among and distinctions between individuals, ideas, or events (e.g., through comparisons, analogies, or categories).

テキストがどのように一つ一つの描写、考え、出来事の間に関わりをもたせ、それらの中に一貫性を生み出しているのかを分析することができる。

(例えば、比較、類比、範疇を通して)

##### ② 技法と構成(レトリックの分析と評価)

- 4) Determine the meaning of words and phrases as they are used in a text, including figurative, connotative, and technical meanings; analyze the impact of specific word choices on meaning and tone, including analogies or allusions to other texts.

他のテキストに対する類推や引喩を含んで、意味や語調から選ばれた特定の語の影響力を分析しつつ、語やフレーズがテキストの中で使われているときの意味(比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで)を確定することができる。

- 5) Analyze in detail the structure of a specific paragraph in a text, including the role of particular sentences in developing and refining a key concept.

鍵となる概念を発見させ、洗練させている特定の文の役割を含んで、テキストの特定の段落の細部に見られる技法を分析することができる。

- 6) Determine an author's point of view or purpose in a text and analyze how the author acknowledges and responds to conflicting evidence or viewpoints.

テキストに見られる筆者の視点や意図を確定し、根拠や観点を対立させるように筆者がどのように認め応じているかを分析することができる。

##### ③ 知識と考えの統合

- 7) Evaluate the advantages and disadvantages of using different mediums (e.g., print or digital text, video, multimedia) to present a particular topic or idea.

特定の話題や考えを提示するために、(例えば、印刷された、あるいはデジタルのテキスト、ビデオ、マルチメディアといった)異なる媒体を用いるときの有利な点と不利な点を評価することができる。

- 8) Delineate and evaluate the argument and specific

claims in a text, assessing whether the reasoning is sound and the evidence is relevant and sufficient; recognize when irrelevant evidence is introduced.

理由づけは手堅いか、根拠が直接関連のある十分なものであるかといった検討をしつつ、テキストにおける議論や特定の主張の論拠を的確に把握し、評価することができる。不適切な根拠が提示されているときにそれを確認することができる。

- 9) Analyze a case in which two or more texts provide conflicting information on the same topic and identify where the texts disagree on matters of fact or interpretation.

二つ以上のテキストが同じ話題についての対立する情報を与えている場合を分析し、事実や解釈に基づいて、テキストが一致しない点を明らかにすることができる。

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

- 10) By the end of the year, read and comprehend literary nonfiction at the high end of the grades 6-8 text complexity band independently and proficiently.

学年の終わりまでに、8学年の学習のまとめとして、6学年から8学年に扱われるような複雑さをもった、文学的なノンフィクションを自主的かつ上手に読んで理解することができる。

### (11) Grade 9-10 9, 10 学年

#### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

- 1) Cite strong and thorough textual evidence to support analysis of what the text says explicitly as well as inferences drawn from the text.

テキストから導き出される推論についても、テキストが明示的に述べていることについても、その分析を支える、本文そのままの強く完璧な根拠を引用することができる。

- 2) Determine a central idea of a text and analyze its development over the course of the text, including how it emerges and is shaped and refined by specific details; provide an objective summary of the text.

テキストの中心思想を確定し、それがテキストの流れの中でどう発展しているのかを分析することができる。(特定の細部の描写によって、どのように浮かび上がり、形づくられ、洗練されていくかということを含む。) ; テキストについての客観的な要旨を準備することができる。

- 3) Analyze how the author unfolds an analysis or series

of ideas or events, including the order in which the points are made, how they are introduced and developed, and the connections that are drawn between them.

それらの要点がどのような順序で、どのように登場させられ、どのように展開されて、相互に関係づけがされているかということを含んで、筆者がどのように解析や一連の考えや出来事を展開しているかを分析することができる。

#### ② 技法と構成(レトリックの分析と評価)

- 4) Determine the meaning of words and phrases as they are used in a text, including figurative, connotative, and technical meanings; analyze the cumulative impact of specific word choices on meaning and tone (e.g., how the language of a court opinion differs from that of a newspaper).

意味や語調から選ばれた特定の語の累積する影響力を分析しつつ、語やフレーズがテキストの中で使われているときの意味(比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで)を確定することができる。(例えば、法廷における意見の言葉と新聞の言葉とをどのように区別しているか。)

- 5) Analyze in detail how an author's ideas or claims are developed and refined by particular sentences, paragraphs, or larger portions of a text (e.g., a section or chapter).

テキストの特定の文、段落、より大きな部分(例えば、節や章)によって、筆者の考えや主張がどのように展開され、洗練されているか、細部の描写を分析することができる。

- 6) Determine an author's point of view or purpose in a text and analyze how an author uses rhetoric to advance that point of view or purpose.

テキストに見られる筆者の視点や意図を確定し、筆者がその視点やテキストの意図を提示するために、どのようなレトリックを使っているか分析することができる。

#### ③ 知識と考えの統合

- 7) Analyze various accounts of a subject told in different mediums (e.g., a person's life story in both print and multimedia), determining which details are emphasized in each account.

それぞれの記述における細部の描写のどちらがより際立たせることに成功しているかを確定しな

がら、異なる媒体におけるテーマについての様々な記述（例えば、印刷物とマルチメディアにおける、ある人物の伝記）を分析することができる。

8) Delineate and evaluate the argument and specific claims in a text, assessing whether the reasoning is valid and the evidence is relevant and sufficient; identify false statements and fallacious reasoning.

理由づけは効果的か、根拠が直接関連のある十分なものであるかといった検討をしつつ、テキストにおける議論や特定の主張の論拠を的確に把握し、評価することができる。誤った意見と誤った理由づけを突き止めることができる。

9) Analyze seminal U.S. documents of historical and literary significance (e.g., Washington's Farewell Address, the Gettysburg Address, Roosevelt's Four Freedoms speech, King's "Letter from Birmingham Jail"), including how they address related themes and concepts.

歴史的・文学的に重要な、根本的なアメリカ合衆国の文書（例えば、ワシントン大統領の『告別の辞』（注1）、ゲティスバーグの演説（注2）、ルーズベルト大統領の「4つの自由」についての演説（注3）、キング牧師の『バーミンガム監獄からの手紙』（注4））を分析することができる。

（それがどのように主題や構想と演説を関係づけているかということを含む。）

#### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) By the end of grade 9, read and comprehend literacy nonfiction in the grades 9-10 text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりまでに、9学年の学習のまとめとして、9学年から10学年に扱われるような複雑さをもった、文学的なノンフィクションを上手に読んで理解することができる。

By the end of grade 10, read and comprehend literary nonfiction at the high end of the grades 9-10 text complexity band independently and proficiently.

学年の終わりまでに、10学年の学習のまとめとして、9学年から10学年に扱われるような複雑さをもった、文学的なノンフィクションを自主的かつ上手に読んで理解することができる。

#### (12) Grade 11-12 11, 12 学年

#### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

1) Cite strong and thorough textual evidence to support analysis of what the text says explicitly as well as inferences drawn from the text, including determining where the text leaves matters uncertain.

テキストから導き出される推論についても、テキストが明示的に述べていることについても、その分析を支える、本文そのままの強く完璧な根拠を引用することができる。（テキストが問題を不確実なまま放置しているところを確定することも含む。）

2) Determine two or more central ideas of a text and analyze their development over the course of the text, including how they interact and build on one another to provide a complex analysis; provide an objective summary of the text.

テキストの二つ以上の中心思想を確定し、それがテキストの流れの中でどう発展しているのかを分析することができる。（複雑な分析を導き出すために、相互にどのように関係づけ、元になっているかを検討することを含む。）；テキストの客観的な要旨を導き出すことができる。

3) Analyze a complex set of ideas or sequence of events and explain how specific individuals, ideas, or events interact and develop over the course of the text.

考えの複雑なセット、出来事の配列について分析し、特定の個人、考え、出来事がテキストの流れの中で、どのように影響し合い、発展しているのかを説明することができる。

#### ② 技法と構成（レトリックの分析と評価）

4) Determine the meaning of words and phrases as they are used in a text, including figurative, connotative, and technical meanings; analyze how an author uses and refines the meaning of a key term or terms over the course of a text (e.g., how Madison defines faction in Federalist No. 10).

筆者が鍵となる用語の意味、あるいはテキストに一貫して出てくる用語の意味をどのように用い、洗練させているかを分析しつつ、語やフレーズがテキストの中で使われているときの意味（比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで）を確定することができる。（例えば、『ザ・フェデラリスト』第10号（注5）において、マディソンがどのように派閥を定義しているか。）

5) Analyze and evaluate the effectiveness of the structure an author uses in his or her exposition or argument, including whether the structure makes points clear, convincing, and engaging.

その構成が論点を明確にし、説得力のあるものにし、魅力的なものにしているかどうかという検討を含んで、筆者がその説明や議論において、使っている構成の有効性を分析し、評価することができる。

6) Determine an author's point of view or purpose in a text in which the rhetoric is particularly effective, analyzing how style and content contribute to the power, persuasiveness or beauty of the text.

テキストの中のレトリックが特に効果的なところに見られる筆者の視点や意図を確定し、表現や内容がどのようにテキストの影響、説得力、魅力に寄与しているかを分析することができる。

### ③ 知識と考えの統合

7) Integrate and evaluate multiple sources of information presented in different media or formats (e.g., visually, quantitatively) as well as in words in order to address a question or solve a problem.

質問したり、問題を解いたりするために、言葉はもとより、(例えば、視覚的に、量的に)異なる媒体や形式においてもたらされる多様な情報源を統合し、評価することができる。

8) Delineate and evaluate the reasoning in seminal U.S. texts, including the application of constitutional principles and use of legal reasoning (e.g., in U.S. Supreme Court majority opinions and dissents) and the premises, purposes, and arguments in works of public advocacy (e.g., The Federalist, presidential addresses).

(例えば、アメリカ合衆国最高裁判所の大多数の意見および少数の反対意見などにおける)本質的な原理の適用や合法的な理由づけの使用を含んで、あるいは、(『ザ・フェデラリスト』、大統領演説などの)公的な弁護の仕事における前提、意図、議論を含んで、将来的に大きな影響力をもつアメリカ合衆国の文書における理由づけを的確に把握し、評価することができる。

9) Analyze seventeenth-, eighteenth-, and nineteenth-century foundational U.S. documents of historical and literary significance (including The Declaration of Independence, the Preamble to the Constitution, the

Bill of Rights, and Lincoln's Second Inaugural Address) for their themes, purposes, and rhetorical features.

17世紀、18世紀、19世紀のアメリカ合衆国の基礎を形成していった時期の歴史的、学問的に大きな意味のある文書をそれらの主題、意図、レトリック上の特徴に焦点をあてて分析することができる。(独立宣言、憲法前文、権利章典(注6)、リンカーン大統領の2度目の就任演説(注7))

### ④ 文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) By the end of grade 11, read and comprehend literary nonfiction in the grades 11-CCR text complexity band proficiently, with scaffolding as needed at the high end of the range.

必要に応じて助けを受けながら、学年の終わりまでに、11学年の学習のまとめとして、11学年から扱われ、大学と職業のレディネスとして必要十分な複雑さをもった、文学的なノンフィクションを上手に読んで理解することができる。

By the end of grade 12, read and comprehend literary nonfiction at the high end of the grades 11-CCR text complexity band independently and proficiently.

学年の終わりまでに、12学年の学習のまとめとして、11学年から扱われ、大学と職業のレディネスとして必要十分な複雑さをもった、文学的なノンフィクションを自主的かつ上手に読んで理解することができる。

### 3 まとめ —RSIT (K-12) の整理—

RSITにおいては、次第に難度を高めながら繰り返し、読解能力を高めていくように、同類の能力が系統的に配列されている。このような構造をStrandと呼び、スパイラルカリキュラムの基本構造として、欧米では広く採用されている。

RSITのそれぞれのStrandは、大学進学あるいは就職に向けて、一貫して次のような能力の育成を目指していると考えられる。

#### ① 鍵となる考えと細部の描写の関係

1) テキストから導き出される推論、およびテキストに明示的に述べられていることの根拠を的確に引用することができる。

2) テキストの中心思想を確定し、それが細部の描写によってどのように発展しているのかを分析す

ることで、テキストの客観的な要旨を導くことができる。

3) テキストの流れの中で、考えや、根拠となる事例などが、どのように関係づけられ、発展していくのかを分析することができる。

#### ②技法と構成（レトリックの分析と評価）

4) 筆者が鍵となる語をどのように用い、洗練させているのかを、その語の意味や語調の与える影響力を視点にして分析することをとおして、語やフレーズがテキストで使われているときの意味（比喩的な意味、暗示的な意味、技術的な意味を含んで）を確定することができる。

5) 論点を明確にし、説得力のあるものにしていくために筆者が使っている技法と構成の有効性を分析し、評価することができる。

6) 筆者がその視点や意図を際立たせるために、どのようなレトリックを使っているかをとらえ、それがどのようにテキストの影響力、説得力、魅力に寄与しているかを分析することができる。

#### ③知識と考えの統合

7) もたらされる多様な情報を統合し、評価しつつ、問題把握や問題解決のために、多様な媒体や形式を利用することができる。

8) 理由づけは効果的か、根拠が直接関係のある十分なものを検討しつつ、テキストにおける議論や主張の論拠を的確に把握し、評価することができる。また、誤った意見と誤った理由づけを突き止めることができる。(11-12 学年においては、公共性の高い評価規準を獲得するために、アメリカ合衆国最高裁判所における本質的な原理の適用や合法的な理由づけのあり方、『ザ・フェデラリスト』に窺える公的な弁護の仕事における前提、意図、議論など、将来的に大きな影響力をもつアメリカ合衆国の文書における理由づけのあり方を的確に把握し、評価することを求められている。)

9) 異なる筆者による、主題提示の仕方の違い、根拠の際立たせ方の違い、事実についての解釈の違いに視点をあて、どのように叙述しているかを分析することができる。(11-12 学年においては、「独立宣言」などの歴史的・文学的に大きな意味のあるアメリカ合衆国の文書をそれらの主題、意図、レトリック上の特徴に焦点をあてて分析することが求められている。)

#### ④文章の複雑さのレベルと読みの幅

10) 教科書に載せられた学年相応の複雑さをもった文章を、対象とするジャンルのあり方、読み進める方法のあり方など、一定の読みの幅の中で、上手に読んで理解することができる。

RSIT には、根拠的確な引用、客観的な要旨の把握、主張と根拠の整合性に視点をあてた細部の描写の分析、語やフレーズの文脈における意味の確定、筆者が使っているレトリックの与える影響力・説得力・魅力の分析と評価、多様な媒体と形式による説得力の評価と利用、根拠や理由づけの効果などについての把握と評価、筆者のレトリカルな論理構築の把握と評価など、国際標準の学力として求められている説明的文章の読解能力の多くが盛り込まれていると考える。このように、大学進学や就職に向けて、学習者に身につけさせる学力をわかりやすい形で示していることは特徴的である。

さらに、これらの能力群を有機的に関係づけ、幼稚園から 12 学年までを貫く Strand によって、系統性を保障しているカリキュラム構造に注目したい。

我が国の説明的文章読解カリキュラムのスパイラル構造化を目指すとき、系統性の保障と Strand 相互の有機的な関係づけが鍵となる。RSIT が与えてくれる具体的な手がかりを参考にしたい。

#### 【注】

1) ワシントン大統領の「告別の辞」（1796 年、ジョージ・ワシントンがフィラデルフィアの新聞紙上に表明した、第 3 期目に向けた大統領への不出馬と内外諸問題についての所見）（リーダーズ英和辞典／リーダーズ・プラスより引用）

2) ゲティスバーグの演説（1863 年 11 月 19 日、リンカーン大統領がゲティスバーグの軍事式典で行った演説；民主主義の真髄を表現した文句“government of the people, by the people, for the people”を含む。）（（1）と同じ書から引用）

3) 1941 年 1 月 6 日アメリカのルーズベルト大統領が一般教書の中で表明した民主主義の原則で、①表現の自由、②信仰の自由、③欠乏からの自由（平和的生活を保障する経済上の相互理解）、④恐怖からの自由（軍縮による侵略手段の除去）の 4 つの自由。民主主義の根幹として、大西洋憲章（1941 年）の中に取り入れられ、連合国の戦争目標となった。のち

に国際連合結成の理念ともなった。(ブリタニカ国際大百科事典より引用)

4) 1963年4月人種差別撤廃運動を推進していたキング牧師が逮捕、拘留されたバーミンガム監獄の獄中から発表した声明。その影響で、運動は大きな盛り上がりを見せた。(ウィキペディア「マーティン・ルーサー・キング・ジュニア」の項などを参考にして記述)

5) 『ザ・フェデラリスト』A.Hamilton,J.Madison,J.Jayによって1787年と88年に出版された論文集;米国憲法の分析とその採択を論じた85の論文からなる。『ザ・フェデラリスト』は、憲法で提案されている政府の仕組みについての哲学や動機を明確で説得力有る文章で綴られているために、現在でもアメリカ合衆国憲法の解釈では一次資料であり続けている。論文の筆者達は憲法の批准について賛成票を投じさせる影響力を持つことと、将来的な憲法の解釈を形作ることの双方を望んだ。歴史家のリチャード・B・モリスに拠れば、それらは「比類のない憲法の解説であり、後のアメリカ人作家による作品のどれよりも幅でも奥行きでも凌駕する政治学の古典である」としている。(ウィキペディア「ザ・フェデラリスト」の項より引用)

6) 権利章典(Bill of Rights)とは、アメリカ合衆国において、憲法中人権保障規定のことをいう。州によっては統治機構とは区別して規定されている。アメリカ合衆国憲法では、最初の修正条項である修正第1条( Amendment 1)から修正第10条( Amendment X)がこれにあたる。名前は1689年に制定された英国の「権利章典(Bill of Rights)」に由来する。合衆国憲法修正第1条から修正第10条は、市民の基本的人権に関する規定であり、憲法制定直後の1789年第1回合衆国会で提案され、1791年12月実施されたものである。(ウィキペディア「権利章典(アメリカ)」の項から引用)

7) 「リンカーン大統領の2度目の就任演説」1865年3月4日、リンカーンは2度目の就任演説を行った。その中で、この戦争の両軍が被った大きな損失は神の意志だと述べた。歴史家のマーク・ノールはこの演説を「アメリカ人が世界の中でその位置を認識するような少数の神聖文書の中に位置づけられる」と述べた。(ウィキペディア「エイブラハム・リンカーン」の中の「1864年大統領選挙での再選」より引用)

## 【参考文献】

- 1) Common Core State Standards for English Language Arts & Literacy in History/Social Studies, Science, and Technical Subjects(2010) Common Core State Standards Initiative  
([http://www.corestandards.org/assets/CCSSI\\_ELA%20Standards.pdf](http://www.corestandards.org/assets/CCSSI_ELA%20Standards.pdf))
- 2) 「アメリカ合衆国における新しい国語科スタンダードに関する研究(2) - Common Core State Standards for English Language Arts -」(堀江祐爾, 2011, 『全国大学国語教育学会発表要旨集』121, pp.307-310, 全国大学国語教育学会)
- 3) 「カナダ・オンタリオ州の Reading Curriculum についての一考察」(青山之典, 2012, 『全国大学国語教育学会発表要旨集』123, pp.217-220, 全国大学国語教育学会)
- 4) 「説明的文章読解カリキュラムにおける Strand の構成に関する一考察 - Strand 相互の関係性に着目して -」(青山之典, 2013, 『全国大学国語教育学会発表要旨集』124, pp.216-219, 全国大学国語教育学会)
- 5) 『リーダーズ英和辞典 第2版』(研究社, 1999, 松田徳一郎編)
- 6) 『リーダーズ・プラス』(松田徳一郎ほか編, 2000, 研究社)
- 7) 『ブリタニカ国際大百科事典小項目電子辞書版』(2011, ブリタニカ・ジャパン)
- 8) 「マーティン・ルーサー・キング・ジュニア」(ウィキペディア, <http://ja.wikipedia.org/wiki/>)
- 9) 「マーチン・ルーサー・キング牧師 Martin Luther King Jr.」(<http://www3.ocn.ne.jp/~zip2000/m-l-king-2.htm>)
- 10) 「ザ・フェデラリスト」(ウィキペディア, <http://ja.wikipedia.org/wiki/>)
- 11) 『ザ・フェデラリスト』(A. ハミルトン・J. ジェイ・J. マディソン著, 斎藤眞・中野勝郎訳, 2011, 岩波文庫)
- 12) 「権利章典(アメリカ)」(ウィキペディア, <http://ja.wikipedia.org/wiki/>)
- 13) 「エイブラハム・リンカーン」(ウィキペディア, <http://ja.wikipedia.org/wiki/>)